

令和5年10月13日

保護者各位

鳥栖市立田代中学校  
校長 西村 茂樹

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

### 1 令和5年度全国学力・学習状況調査について

令和5年4月18日、下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

### 2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

#### (1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の正答率を下回っていました。
- ・無解答率は、ほとんどの問題で全国を下回っていましたが、漢字を書く問題において、全国を大きく上回っており、課題が見られました。
- ・「話すこと・聞くこと」の領域では、話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる問題で、正答率が高く、全国の平均正答率を大きく上回っていました。与えられたテーマでグループごとに話し合う「立席会議」の取り組みの効果が始まったものと思われます。
- ・「知識及び技能」の「我が国の言語文化に関する事項」では、全国平均を下回り、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことに課題が見られました。
- ・文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる問題の正答率は低い傾向にあります。課題テストや定期テストで類似した問題を作問したり、教材化し授業で取り扱ったりするなど工夫が必要だと思われます。

#### (2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の正答率を下回っていました。
- ・「知識及び技能」では、四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる問題で、正答率が高く、全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「思考・判断・表現力等」では、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題で、正答率が高く、

全国の平均正答率を大きく上回っていました。

(3) 英語について

- ・全体の平均正答率は、全国の正答率を下回っていました。
- ・無解答率は、ほとんどの問題で全国を下回っていました。多くの生徒が、あきらめずに根気強く取り組んだことが窺えました。
- ・「聞くこと」においては、設問によって全国の平均を大きく上回ったり、下回ったりしていました。安定して情報を正確に聞き取る力に課題が見られました。
- ・「思考・判断・表現力等」では、社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる問題で正答率が高く、全国の平均正答率を大きく上回っていました。

### 3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校生徒の姿

- ・「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」といった、基本的な生活習慣に関しては肯定的な回答が全国平均を上回っており、学校の落ち着きの大きな要因であると考えられます。
- ・「夢や目標を持っていますか」という問いに対しては、「当てはまる」と回答した生徒は全国平均を大きく上回っており、系統的なキャリア学習の成果が出ていると考えられます。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という問いに対して、「している」と回答した生徒の割合は全国平均を下回っており、家庭学習を自分で計画的に進めることがうまくできていない生徒が多いことも分かりました。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という問いに対して、「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく下回っていました。地域ボランティア等への積極的な参加を促したいと思います。

### 4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・国語、数学、英語の結果から、基礎的・基本的なことが十分に身につけていない領域がありました。そこで、数学、英語の授業では引き続き、教師2人によるTT授業を行い、きめ細やかな指導による学習内容の定着を図ります。また、各教科においてICT機器を活用し、学習内容を視覚的に捉えさせたり、1人1台端末を用いた教材や学習活動などを効果的に取り入れたりして、個別最適な授業を行うための改善に努めていきます。
- ・家庭学習の習慣化に向けて、各教科で家庭学習の課題の内容や提示の仕方を工夫し、学習習慣の定着を図っていきます。
- ・地域で行われている清掃活動などに、生徒が主体的に参加できるように、声かけや支援を行います。
- ・ご家庭でも次のようなことに心がけていただければと思います。

#### 1 家庭での学習時間をつくってください。

- ◎学習する時間や時間帯を決め、取り組ませることで学習習慣を身につけてください。
- ◎スマートフォンやゲーム機などの利用は家庭での約束を大切にして、長時間にならないよう声かけをお願いいたします。

#### 2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を上手に使いましょう。

- ◎早めに起床させ、必ず「朝食」を食べさせるようにしてください。
- ◎将来の夢や就きたい職業等について話し合ってください。

#### 3 がんばっていることや良くできたことをほめて、自尊感情を高めていきましょう。